ほっとハートだより

Ｈ２０．11 月号

発行元　特定非営利活動法人ほっとハート
市川市新田５－１４－１１

ほっとハートから皆様へ
以前より皆様にお配りしていた「ほっとハートだより」を今回より紙からインターネットを利用した方法での発行とさせていただくことになりました。また「月刊誌」として生まれ変わり、各事業の活動報告など“ほっと”な情報を皆様に提供していければと思っております。
今後ともほっとハートを宜しくお願い致します。

ほっとハートだより編集部

最近のほっとハート模様

10 月１６日　イタリアの精神医療改革を知ろう！

「ルポ精神病棟」で知られる大熊一夫さん、イタリアから「バザリアの娘」と呼ばれる社会学者マリア＝グラティア・ジャンニケッダさんをお呼びし、（右上写真左から大熊さん・ジャンニケッダさん）イタリアで施行されている「バザリア法」が現在に至るまでの経緯や現在のイタリアの精神保健福祉の動向等を講演していただきました。当日は堂本知事も参加されました。

場所：市川グランドホテル
主催：ＮＰＯ法人　ＡＣＴＩＰＳ
ＮＰＯ法人　ＮＥＣＳＴ
共催：ＮＰＯ法人　地域精神保健福祉機構　ＣＯＭＨＢＯ

10 月１８，１９日　いちかわ市民まつり　参加

例年と同じく今年もほっとハートプラス、アトリエほっとハートで参加し、利用者さん、職員ともに協力しフランクフルトやもつ煮を販売しました。

10月２５,２６日　ＷＨＯ・第３回健康都市連合国際大会

市川市にて全国大会が開催され、分科会「こころの健康を支える取り組み」においては市川市で実施されたマディソンモデル活用事業の発表もありました。

利用者さんリレーインタビュー

第１回　　竹田　伎予子さん

ほっとハートのグループホームに暮らし始めて１２年、心臓の手術を受けたりいろいろありましたが、グループホームで家族のような仲間との生活を続けています。
サンワークの作業所を終え、今は介護保険のサービスを使っています。先のことを考えると不安ですが、毎日なんとか過ごしています。

理事のご紹介

第１回　　品川　眞佐子さん

諸先輩方を差し置いてトップバッターを務めさせていただきます。
ほっとハートに入職して１０年目、市川でのボランティアでも活動期間を合わせると障害者支援に関わって通算２５年になります。
今年還暦を迎え、今なお活動を続けさせて頂けることに感謝しています
現在は厚生労働省　「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」構成員、市川市社会福祉審議会委員を務めさせていただいております